

(問 1) 原価標準 \_\_\_\_\_ 円／個

(問 2) 期首仕掛品標準原価 \_\_\_\_\_ 円

期首製品標準原価 \_\_\_\_\_ 円

完成品標準原価 \_\_\_\_\_ 円

期末仕掛品標準原価 \_\_\_\_\_ 円

期末製品標準原価 \_\_\_\_\_ 円

売上品標準原価 \_\_\_\_\_ 円

(問 3)

直接材料費差異	{	価格差異 _____	円 ( 差異)
		数量差異 _____	円 ( 差異)
直接労務費差異	{	賃率差異 _____	円 ( 差異)
		時間差異 _____	円 ( 差異)
製造間接費差異	{	予算差異 _____	円 ( 差異)
		能率差異 _____	円 ( 差異)
		操業度差異 _____	円 ( 差異)

(問 4)

(単位：円)

	期末仕掛品原価	期末製品原価	売上原価
[ ケース 1 ]			
[ ケース 2 ]			

(問 1) N 製品原価標準 \_\_\_\_\_ 円

(問 2) 期首仕掛品標準原価 \_\_\_\_\_ 円

期末仕掛品標準原価 \_\_\_\_\_ 円

完成品標準原価 \_\_\_\_\_ 円

(問 3)

(単位：円)

直接材料費	A 原料	B 原料	C 原料	D 原料
価格差異				
数量差異				

(単位：円)

直接労務費	第 1 作業区分	第 2 作業区分	第 2 工程
賃率差異			
時間差異			

(単位：円)

製造間接費	第 1 工程	第 2 工程
予算差異		
能率差異		
操業度差異		

(問 1)

材 料


賃 金


製造間接費


仕 掛 品


問題 3 / 標準原価計算③

解答欄

(問 2)

材 料	

賃 金	

製造間接費	

仕 掛 品	

(問 3)

(単位：円)

I 売上高 ( )

II 売上原価

1. 期首製品棚卸高 ( )

2. 当期製品製造原価 ( )

計 ( )

3. 期末製品棚卸高 ( )

差引 ( )

4.  ( ) ( )

売上総利益 ( )

(問 4)

(単位：円)

I 売上高 ( )

II 売上原価

1. 期首製品棚卸高 ( )

2. 当期製品製造原価 ( )

計 ( )

3. 期末製品棚卸高 ( )

差引 ( )

4.  ( ) ( )

売上総利益 ( )

- (問1) 原 価 標 準 \_\_\_\_\_ 円/kg
- (問2) 価 格 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
配 合 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
歩 留 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)
- (問3) 賃 率 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
能 率 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
歩 留 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)
- (問4) 予 算 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
能 率 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
操 業 度 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)
- (問5) 価 格 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
配 合 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
歩 留 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)

(問 1) \_\_\_\_\_ 円/kg

(問 2) (1) 価 格 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異) 数 量 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
 X 材料歩留差異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異) Y 材料歩留差異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
 X 材料配合差異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異) Y 材料配合差異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)

(2) X 材料歩留差異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異) Y 材料歩留差異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
 X 材料配合差異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異) Y 材料配合差異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)

(問 3) 賃 率 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異) 時 間 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
 歩 留 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異) 能 率 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)

(問 4) 予 算 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異) 能 率 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)  
 操 業 度 差 異 \_\_\_\_\_ 円 ( 差異)

(問 1) ① \_\_\_\_\_  
 ② \_\_\_\_\_

(問 2)

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価	<input type="text"/>	完成品製造原価	<input type="text"/>
主材料費	7,942,600	[ <input type="text"/> ]	<input type="text"/>
変動加工費	2,245,600	月末仕掛品原価	<input type="text"/>
固定加工費	3,590,000	標準原価差異総額	<input type="text"/>
合 計	<input type="text"/>	合 計	<input type="text"/>

(問 3)

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価	<input type="text"/>	完成品製造原価	<input type="text"/>
主材料費	7,942,600	[ <input type="text"/> ]	<input type="text"/>
変動加工費	2,245,600	月末仕掛品原価	<input type="text"/>
固定加工費	3,590,000	標準原価差異総額	<input type="text"/>
合 計	<input type="text"/>	合 計	<input type="text"/>

(問 4)

差異の名称	第 1 法	第 2 法

(問 5) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_



## (その1)

(問1) 損益分岐点売上高 \_\_\_\_\_ 円, 安全余裕率 \_\_\_\_\_ %

(問2) 予算営業利益 \_\_\_\_\_ 円, 損益分岐点売上高 \_\_\_\_\_ 円  
安全余裕率 \_\_\_\_\_ %(問3) 予算営業利益 \_\_\_\_\_ 円, 損益分岐点売上高 \_\_\_\_\_ 円  
安全余裕率 \_\_\_\_\_ %(問4) 予算営業利益 \_\_\_\_\_ 円, 損益分岐点売上高 \_\_\_\_\_ 円  
安全余裕率 \_\_\_\_\_ %(問5) 予算営業利益 \_\_\_\_\_ 円, 損益分岐点売上高 \_\_\_\_\_ 円  
安全余裕率 \_\_\_\_\_ %

## (その2)

## (問1)

## 損 益 計 算 書 (単位: 千円)

I	売 上 高	( _____ )
II	変動売上原価	( _____ )
	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px;"></div>	( _____ )
III	変動販売費	( _____ )
	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px;"></div>	( _____ )
IV	固 定 費	
	製造原価	( _____ )
	販 売 費	( _____ )
	一般管理費	( _____ )
	営業利益	( _____ )

(問2) 損益分岐点売上高 \_\_\_\_\_ 円, 安全余裕率 \_\_\_\_\_ %

(問3) 目標利益額 \_\_\_\_\_ 円, 目標利益達成点売上高 \_\_\_\_\_ 円

(問4) 目標利益達成点売上高 \_\_\_\_\_ 円, 安全余裕率 \_\_\_\_\_ %  
総資本利益率 \_\_\_\_\_ %

(問1) 損益分岐点販売量	製品A	_____	個
	製品B	_____	個

(問2) 希望営業利益	_____	円
希望利益を達成する販売量	製品A _____	個
	製品B _____	個

(問3) 予想営業利益	_____	円
予想販売量における安全余裕率	_____	%

(問4) 固定費削減額	_____	円
-------------	-------	---

(問1) 期首製品棚卸高 \_\_\_\_\_ 円  
 当期製品製造原価 \_\_\_\_\_ 円  
 期末製品棚卸高 \_\_\_\_\_ 円  
 営業利益 \_\_\_\_\_ 円

(問2) 損 益 計 算 書 (単位:円)

I 売上高	( _____ )	
II 変動売上原価		
1. 期首製品棚卸高	( _____ )	
2. 当期製品製造原価	( _____ )	
合 計	( _____ )	
3. 期末製品棚卸高	( _____ )	( _____ )
変動製造マージン		( _____ )
III 変動販売費		( _____ )
貢献利益		( _____ )
IV 固定費		
1. 加工費	( _____ )	
2. 販売費	( _____ )	
3. 一般管理費	( _____ )	( _____ )
営業利益		( _____ )

(問3) 直接原価計算による営業利益 ( \_\_\_\_\_ ) 円  
 期末仕掛品・製品に含まれる固定費 ( \_\_\_\_\_ ) 円  
 期首仕掛品・製品に含まれる固定費 ( \_\_\_\_\_ ) 円  
 全部原価計算による営業利益 ( \_\_\_\_\_ ) 円

(問4) 期末仕掛品原価 \_\_\_\_\_ 円  
 期末製品原価 \_\_\_\_\_ 円

(問 1)

現金収支予算表

(単位：円)

期 首	3,200,000	
収 入 売掛金回収	( )	
計	( )	
支 出 買掛金支払	( )	
直接労務費	( )	
製造間接費	( )	
販 売 費	( )	
一般管理費	( )	
支 払 利 息	( )	
差引； 期 末 残 高	( )	

(問 2)

予算損益計算書

(単位：円)

I 売上高	( )	
II 変動費		
1. 変動売上原価	( )	
2. 変動販売費	( )	( )
貢献利益	( )	
III 固定費		
1. 製造原価	( )	
2. 販売費	( )	
3. 一般管理費	( )	( )
営業利益	( )	
IV 営業外費用		
1. 支払利息	( )	( )
当期純利益	( )	( )

## 問題 10 / 予算編成①

## 解答欄

(問 3)

予算貸借対照表

(単位：円)

現 金 ( )	買 掛 金 ( )
売 掛 金 ( )	借 入 金 ( )
製 品 ( )	資 本 金 100,000,000
材 料 ( )	利益剰余金 ( )
土 地 ( )	
建 物 ( )	
機 械 ( )	
( )	

(問 1) 最大化  $Z =$   
制約条件

(問 2)

損益計算書予算

現金支出原価	千円	売上高	千円
減価償却費			
支払利息			
当期純利益			
	千円		千円

貸借対照表予算

現金	千円	借入金	千円
売掛金		資本金	
固定資産		利益剰余金	
	千円		千円

資金予算

1. 現金流入額；

(1) 期首現金残高 千円  
(2) 売掛金回収額 千円

2. 現金流出額；

(1) 変動製造原価 千円  
(2) 販売費  
(3) 一般管理費  
(4) 支払利息  
(5) 借入金返済額  
(6) 配当金

3. 期末現金残高 千円

(問 1) 製品 X \_\_\_\_\_ 円      製品 Y \_\_\_\_\_ 円

(問 2) 損益分岐点売上高 \_\_\_\_\_ 円      安全余裕率 \_\_\_\_\_ %

(問 3) \_\_\_\_\_ 円

(問 4) \_\_\_\_\_ 円

(問 5) 販 売 部 門 \_\_\_\_\_ 円      製 造 部 門 \_\_\_\_\_ 円

管 理 部 門 \_\_\_\_\_ 円

(問 6) 管理可能差異 \_\_\_\_\_ 円      管理不能差異 \_\_\_\_\_ 円

(問 7) 販売価格差異 \_\_\_\_\_ 円      販売数量差異 \_\_\_\_\_ 円

単位原価差異 \_\_\_\_\_ 円      固定費差異 \_\_\_\_\_ 円

当社が①の案を採用した場合、予算営業利益は \_\_\_\_\_ 円であり、これを基準とした場合、

②の案を採用すると（差額利益，差額損失）が \_\_\_\_\_ 円だけ発生し、

③の案を採用すると（差額利益，差額損失）が \_\_\_\_\_ 円だけ発生し、

④の案を採用すると（差額利益，差額損失）が \_\_\_\_\_ 円だけ発生する。

したがって、当社にとっては（ ① ， ② ， ③ ， ④ ）の案を採用することが最善の選択である。

注）括弧内は不要な語句を二重線で抹消しなさい。



(問 1) \_\_\_\_\_ 時間

(問 2) ( 自製 ・ 購入 ) した方が原価が ( \_\_\_\_\_ ) 円節約できるので、  
( 自製 ・ 購入 ) すべきである。

注) 不要な語句を二重線により抹消すること。

(問 3) 配置転換を ( した ・ しない ) 方が利益が ( \_\_\_\_\_ ) 円多くなるので、  
社長の決断は妥当で ( ある ・ ない ) 。

注) 不要な語句を二重線により抹消すること。

## 問題 15 / 差額原価収益分析③

## 解答欄

(問1)

	A 製品	B 製品	C 製品	合 計
I 売上高	千円	千円	千円	千円
II 売上原価				
売上総利益	千円	千円	千円	千円
III 販売費及び一般管理費				
営業利益	千円	千円	千円	千円

(問2)

(1)	(2)	(3)	(4)

(問3)

	A 製品	B 製品	C 製品	合 計
I 売上高	千円	千円	千円	千円
II 変動費				
限界利益	千円	千円	千円	千円
III 個別固定費				
製造間接費				
販売費及び一般管理費				
製品貢献利益	千円	千円	千円	千円
IV 共通固定費				
営業利益				千円

(問4) A事業部へ転用した方が \_\_\_\_\_ 千円だけ (有利・不利) である。

(括弧内の不要な語句を二重線で消去すること。)

(計算過程)

- (問5) 自製した方が、買入れるよりも \_\_\_\_\_ 千円だけ ( 有利・不利 ) である。  
また \_\_\_\_\_ 個を超えて自製すると、それを買入れるよりも ( 有利・不利 ) となる。  
(括弧内の不要な語句を二重線で消去すること。)

(計算過程)

(問 1) 製品 X \_\_\_\_\_ 個      製品 Y \_\_\_\_\_ 個

予算営業利益 \_\_\_\_\_ 円

(問 2) 製品 X \_\_\_\_\_ 個      製品 Y \_\_\_\_\_ 個

予算営業利益 \_\_\_\_\_ 円

(問 3) 製品 X \_\_\_\_\_ 個      製品 Y \_\_\_\_\_ 個

予算営業利益 \_\_\_\_\_ 円

(問 4) 製品 X \_\_\_\_\_ 個      製品 Y \_\_\_\_\_ 個

予算営業利益 \_\_\_\_\_ 円

(問 5) 製品 X \_\_\_\_\_ 個      製品 Y \_\_\_\_\_ 個

予算営業利益 \_\_\_\_\_ 円

(問 6) 製品 P を生産販売することによって営業利益が \_\_\_\_\_ 円 ( 増加 ・ 減少 ) するので、  
製品 P を生産販売すべきで ( ある ・ ない ) 。

注) 不要な文字を抹消すること。

## 問題 17 / 設備投資の経済計算①

## 解答欄

(問 1) (1) A 投資案 \_\_\_\_\_ 千円      B 投資案 \_\_\_\_\_ 千円

(2) \_\_\_\_\_

(問 2) (1) A 投資案 \_\_\_\_\_ 年      B 投資案 \_\_\_\_\_ 年

判断: \_\_\_\_\_

(2) \_\_\_\_\_

(問 3) (1) A 投資案 \_\_\_\_\_ %      B 投資案 \_\_\_\_\_ %

判断: \_\_\_\_\_

(2) \_\_\_\_\_

(問 4) A 投資案 \_\_\_\_\_ 千円      B 投資案 \_\_\_\_\_ 千円

判断: \_\_\_\_\_

(問 5) (1) A 投資案 \_\_\_\_\_ %      B 投資案 \_\_\_\_\_ %

判断: \_\_\_\_\_

(2) \_\_\_\_\_

(問 6) NK 投資案 \_\_\_\_\_ 千円

(問 1) P 社設備への投資案 \_\_\_\_\_ % Q 社設備への投資案 \_\_\_\_\_ %

(問 2) P 社設備への投資案 \_\_\_\_\_ 千円 Q 社設備への投資案 \_\_\_\_\_ 千円

(問 3) P 社設備への投資案 \_\_\_\_\_ 千円 Q 社設備への投資案 \_\_\_\_\_ 千円

(問 4) 年間 \_\_\_\_\_ 個以上の製品 C を製造・販売するときに ( P ・ Q ) 社製設備への投資案の方が有利となる。

注) 不要な文字を抹消すること。以下の問も同様とする。



(問 5) まず、製品 C を 10,000 円で販売する場合を考える。このときの販売量は 3,000 個であるので、(問 3) の結果より、( P ・ Q ) 社設備への投資案の方が有利であることがわかる。この設備の正味現在価値は \_\_\_\_\_ 千円である。

次に、製品 C を 11,000 円で販売する場合を考える。この場合の販売量は 2,500 個に減少する。このときの P 社設備の正味現在価値は \_\_\_\_\_ 千円、Q 社設備の正味現在価値は \_\_\_\_\_ 千円である。

以上の結果より、正味現在価値の最も大きいものを採用すればよいため、( P ・ Q ) 社設備への投資案を採用し、かつ製品 C を ( 10,000 円 ・ 11,000 円 ) で販売すべきである。

(問 1) (1) ① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_

(2) 比較対象 :

理由 :

(3) \_\_\_\_\_

(4) 業績測定尺度 :

理由 :

(問 2) (1) 比較対象 :

理由 :

(2) \_\_\_\_\_

(3) 業績測定尺度 :

理由 :

## 問題 20 / A B C

## 解 答 欄

(問 1)

	# 500
直 接 材 料 費	円
直 接 労 務 費	円
製 造 間 接 費	
機 械 加 工 部 門	円
組 立 部 門	円
合 計	円

(問 2)

	# 500
直 接 材 料 費	円
直 接 労 務 費	円
製 造 間 接 費	
発 注 活 動	円
注 文 書 照 合 活 動	円
積 荷 検 収 活 動	円
段 取 活 動	円
機 械 加 工 活 動	円
組 立 活 動	円
検 査 活 動	円
合 計	円

(問 3)

---



---



---



---



---



---